

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
感染看護学特論 I (感染症対策の変遷と 感染看護)	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 「下記6,7.参照」
科目責任者	福井 幸子		
担当者	福井 幸子、新改 法子、田辺 正樹 (非常勤)、高野 八百子 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
<p><ねらい> 感染症が社会に与える影響と国内外における医療政策及び感染防止対策の知見を深め、高度実践看護師の役割について探究する。</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 国内外の感染症の様相と社会に及ぼした影響について歴史の変遷を辿りながら説明できる。 2) 国内外の医療制度及び感染防止対策について説明できる。 3) 国内における市中感染および医療関連感染の様相と感染防止活動の概要を説明できる。 4) 感染対策に必要な看護活動の概要を説明できる。 5) 感染症看護専門看護師の活動の場と役割について概要を説明できる。 			
2. 授業計画・内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1回 : 世界における感染症および感染対策が与えた社会への影響 (福井) 2回 : 日本における感染症および感染対策が与えた社会への影響 (福井) 3-4回 : 感染対策における平時および緊急時の行政と医療機関との連携 (田辺) <ul style="list-style-type: none"> ・ 改正感染症法 (協定指定医療機関の指定、診療報酬) に基づいた始動と関係機関の連携 5-6回 : 感染対策における平時および緊急時の保健所の機能と役割 (田辺) <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療法、診療報酬、感染症法、AMR 対策アクションプランに基づいた医療機関との連携 COVID-19 流行時における取組の実際と課題含む 7-8回 : 高齢者施設における平時および緊急時の感染対策 (福井、新改) <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護報酬改定 業務継続計画 (BCP) の策定、感染症の発生およびまん延の防止 9-10回 : 医療従事者の健康管理 (新改) <ul style="list-style-type: none"> ・ 血液体液曝露対策とワクチンプログラム、ICT による安全管理体制 11回 : 感染看護の歴史の変遷 (福井) <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイチンゲールによる活動から標準予防策誕生まで、国内外のガイドラインの変遷 12回 : 高度実践看護師 (CNS/NP) 誕生の背景と役割① (新改) <ul style="list-style-type: none"> ・ APRN 誕生の背景から考える CNS に求められる活動について 13回 : 高度実践看護師 (CNS/NP) 誕生の背景と役割② (新改) <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国の医療事情 (誕生の背景、現在) と APRN の活動 (CNS の 6 つの活動) ・ 組織における活動の実際、施設および地域における役割 14-15回 : 感染症看護専門看護師の活動の実際 (高野) 			
3. 教科書、参考書			
教科書 : 指定はない。 参考書 : 1) Mary Fran Tracy, Eileen T. O' Grady 著 : 中村美鈴/江川幸二監訳 : 高度実践看護 統合的アプローチ, 第2版, へるす出版, 2020. ISBN:978-4-89269-996-2			

<p>2) 専門看護師の臨床推論研究会編：専門看護師の思考と実践，医学書院、2015。ISBN:978-4-260-02400-6</p> <p>3) 大曲貴夫，操華子編：感染管理・感染症看護テキスト，照林社，2015年。ISBN:978-4-796-52350-9</p> <p>4) 操華子，川上和美編：看護学テキストNICE 感染看護学，南江堂，2022。ISBN:978-4-524-22978-9</p> <p>5) 湯楨ます，他訳/Florence Nightingale:看護覚え書 看護であること看護でないこと，第8版，現代社，2023，ISBN:978-4-87474-199-3</p> <p>6) 石 弘之：図解 感染症の世界史，KADOKAWA，2021。</p> <p>7) Christine Hallett/中村哲也編：ヴィジュアル版 看護師の歴史，図書刊行会，2014。ISBN:978-4-336-05798-3</p>
<p>4. 成績評価方法 講義の取り組み状況 40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容 60%で総合的に評価する。</p>
<p>5. 受講要件 感染看護専門看護師コースの学生は必修</p>
<p>6. 社会人学生に対する配慮 オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。</p>
<p>7. その他 課題については文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨んでください。 本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。 やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。 視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期日内に提出していただきます。授業担当者または科目担当者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします。</p>